

令和 6 年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標
『豊かな心をもち 未来を切り拓く力を身に付けた生徒の育成』
～社会で「自立と貢献」ができる人づくりを目指して～
- (2) 具体目標
豊かな心をもち 思いやりのある生徒（徳） 主体的に考え 粘り強く学ぶ生徒（知）
気力にあふれ たくましい生徒（体） 精神的に自立し 他と協働できる生徒（社会性）
- (3) 生徒指標
「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の育成をバランスよく展開することにより、豊かな心を基盤にしながら、確かな学力や自ら学び考え行動する力、健康な心身などの「生きる力」を育成する。併せて、今後ますます必要とされる社会性の育成についても推進する。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し、自ら研鑽に努め、業務の適正化を図りながら協働した教育実践をしていくことで、保護者や地域との連携を深め、一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- (2) 「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- (3) ○豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- (4) ○認め、褒めて伸ばす指導による自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進
- (5) ○言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- (7) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の効率化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- (8) ○小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり
- (9) 質の高い教育の提供と生徒と向き合

【横川地域学校園教育ビジョン】

「豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育」
～自分・人・地域を大切にし、主体的に行動できる子どもの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

- 次の5つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進していくための教育課程を編成する。
- (1) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
 - (2) 教科・領域における地域の教育資源の活用や連携による「主体的・対話的で深い学び」の充実
 - (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による、小中一貫教育の一層の充実
 - (4) 保護者や地域住民等への情報発信及び家庭や地域との連携・協働の推進
 - (5) 行事や業務の見直しと精選による働き方改革の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営
○生徒一人一人のよさや強みを認め、「褒めて伸ばす」指導の充実
(2) 学習指導
○「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と、「主体的・対話的で深い学びの充実」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成
(3) 児童生徒指導
○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導
○児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい—(共通スローガン)～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～
(4) 健康（保健安全・食育）・体力
○自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①基礎・基本の定着のため、授業でＴＴや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応できる学習指導の体制を整える。 ②放課後学習相談を継続して実施する。 ③「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫する。 ④言語活動の充実を図る活動を取り入れる。 ⑤思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。 ⑥問題解決で他者と協力できる人間関係が育成できるような学級経営を行う。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.2% 教職員の肯定的回答 95.1% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①基礎・基本の定着のため、授業でＴＴや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応する。 ②地域未来塾を継続して実施する。 ③「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫する。 ④言語活動の充実を図る活動を取り入れる。 ⑤思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。 ⑥問題解決で他者と協力できる人間関係を育成する学級経営を行う。
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 95%以上	①道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ②思いやりの心を自然環境やものに対しても持てるよう SDGs と関連させた内容や委員会活動においても計画をする。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 88.4% 教職員の肯定的回答 95.1% 保護者の肯定的回答 83.4% ・評価対象である生徒・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ②学校行事等を通して、行事の目的を理解した上で、他者への思いやりや寛容の心を育むことができるよう、計画・実施する。

	A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①将来の目標を実現するために、学級活動の中で身近な職業調べや上級学校調べを行い、計画的に進路の学習を進め、希望をもった生活を送ることができるようなきめ細やかな指導を行っていく。 ②学校生活の様々な場面で、段階的に目標を立て、振り返りを行っていくことで、夢に少しずつ近づけるような指導をしていく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 79.3% 教職員の肯定的回答 95.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は達成した。 【次年度の方針】 ①学校生活の様々な場面で、段階的に目標を立て、振り返りを行っていくことで、夢に少しずつ近づけるような指導を工夫する。 ②将来の目標を実現するために、学級活動の中で身近な職業調べや上級学校調べを行い、計画的に進路の学習を進め、希望をもった生活を送ることができるよう、きめ細やかな指導を行う。
1-(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 80%以上	①生徒会保健体育委員会の活動を充実させ、生涯にわたった健康的な生活が身につくようきめこまかな指導をしていく。 ②「うつのみや元気っ子プロジェクト」を活用しながら具体的な目標を設定しバランスの良い食生活を送ること、体力の増進に努めるなどを自主的にできるようにする。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.3% 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は達成した。 【次年度の方針】 ①生徒会保健体育委員会の活動を充実させ、生涯にわたった健康的な生活が身につくよう、きめ細やかな指導をする。 ②「うつのみや元気っ子チャレンジ」を活用して具体的な目標を設定し運動に親しむ機会を充実させながら体力の向上に努める。バランスの良い食生活を送ることができるようにする。
1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①自分自身をしっかりと見つめ、自身のよさを認めることができるような肯定的な声かけをしていく。 ②普段の学校生活の中で、他人を思いやり協力することの大切さを学ぶ機会を作り、お互いを認め合うことができるような雰囲気作りを大切にしていく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.2% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①自分自身をしっかりと見つめ、自身のよさを認めることができるよう、肯定的な声かけをする。 ②普段の学校生活の中で、他人を思いやり協力することの大切さを学ぶ機会を作り、お互いを認め合うことができるような雰囲気作りをする。

2- (1) グローバル 社会に主体的 に向き合い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 生徒は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	①英語でのコミュニケーション活動 を行う機会を増やせるよう、英語科 の授業で、場面設定の工夫などをし た対話活動を行う。 ②英語科の授業において、英語で話し 合うことの楽しさを感じられるよ うな言語活動の時間を多く取り入 れる。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 70.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は 数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 現在の授業の様子等に大きな問題点 はなく、数値目標の下方修正が必要と感 じる。A L T の活用を含め、英語の授業 でのコミュニケーション活動の取り入 れをさらに増やす努力を続ける。 B ①英語でのコミュニケーション活動 を行う機会を増やせるよう、英語科の授 業で、場面設定の工夫などをした対話 活動を行う。 ②英語科の授業において、英語で話し合 うことの楽しさを感じられるような 言語活動の時間を多く取り入れる。
	A 7 児童生徒は、宇都宮の 良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上	①総合的な学習の時間の宇都宮学の 授業や地域のボランティア活動 を通して、宇都宮の良さを 感じられる体験ができるよ うな指導を工夫していく。 ②教科等で地域を題材（（例）社会科の単元「地 域の在り方」）と取り上げ、宇都宮につ いての知識を深める。 ③給食で「地産地消」の食材を用いる など、宇都宮の農産物について の興味関心を高める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 82.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は 数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①総合的な学習の時間の宇都宮学の授 業や地域のボランティア活動 を通して、宇都宮の良さを 感じられる体験ができるよ うな指導を工夫する。 B ②教科等で地域の題材（（例）社会科の 単元「地域の在り方」）を 取り上げ、宇都宮について の知識を深める。 ③給食で「地産地消」の食 材を用いるなど、宇都宮 の農産物についての興味 関心を高める。
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 生徒は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員の肯定的回答 80%以上	①生徒にタブレットの正しい扱い方 を指導していく。 ②各教科主任を中心として、タブレ ットや図書を有効活用した授業実践 を行えるようにする。 ③活用の状況等を記録、発信し、生徒 自身が「活用している」と自信を持 てる気持ちを養う。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 68.7% 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は 数値指標を達成できなかったが、教職 員の肯定的回答は達成した。 【次年度の方針】 ①生徒に、タブレットの正しい扱い方 を指導していく中でメディアリテラシ ーや情報モラルを涵養する。 B ②各教科主任を中心として、タブレ ットや図書を有効活用した授業実践 を行えるようにする。 ③生徒自身がタブレットの活用状況等 を記録、発信することを通して、生徒 自身が「活用している」と自信を持 てる気持ちを養う。

2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上 教職員の肯定的回答 70%以上	①各教科、領域で「持続可能な社会」について教える。 ②各種委員会で、SDGsに関連した目標をたて、生徒の意識を高める。 ③生徒だけでなく、教員側の知識と関心を高める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 74.9% 教職員の肯定的回答 87.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は達成した。 【次年度の方針】 ①各教科、領域で「持続可能な社会」について指導する。 ②各種委員会で、SDGsに関連した目標をたて、生徒の意識を高める。
3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上	①個々の情報や支援の方針を共通理解し、全職員で対応できるようにする。 ②気になる生徒について、適宜ケース会議等を実施し、適切な対応が図れるよう検討を行う。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①教職員の特別支援教育研修の充実を図り、多様なニーズに対応できるよう努める。 ②生徒指導部会や支援部会で、生徒の状況についての情報共有やケース会議を行った上で、医療機関や相談機関などの外部機関との情報交換を積極的に行うなど、迅速かつ適切な支援活動ができるよう努める。
3- (2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 95%以上	①日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。 ②いじめ調査などの調査用紙を活用し、生徒が困り感を表出しやすい環境を整えと共に、訴えについては迅速に対応する早期発見・早期解決の組織的対応を実践する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.8% 教職員の肯定的回答 97.6% 保護者の肯定的回答 81.6% ・評価対象である生徒・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は達成した。 【次年度の方針】 ①日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。 ②生徒が相談しやすい環境を整える一助とした「いじめ調査」等を活用した早期発見と、組織的対応を実践した早期解決に努める。
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 90%以上	①学校生活アンケートなどの調査用紙を活用すると共に、教育相談を充実させ学級担任と生徒が信頼関係を構築できるように努める。 ②別室登校の環境を整え、様々なニーズに合った対応が可能になる体制を構築する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 92.1% 教職員の肯定的回答 95.1% 保護者の肯定的回答 89.0% ・評価対象である生徒・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は達成した。 【次年度の方針】 ①宮っ子ダイアリーだけでなく、「学校生活アンケート」や教育相談などを活用し、教師と生徒との信頼関係の構築に努める。 ②別室登校の環境を整え、様々なニーズに合った対応が可能になる支援体制構築に努める。

3-(3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大 切にされ、活気があり、 明るくいきいきとした雰 囲気である。	①担当委員会が提案するだけでなく、 横のつながりを大切にし、委員会の 枠を超えて横断的に活動をしてい くようにする。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.0% 教職員の肯定的回答 100.0% 保護者の肯定的回答 87.0% 地域の肯定的回答 100.00% ・評価対象である生徒・教職員・保護者 地域の肯定的回答は数値指標を達成 した。
3-(4) 多様な教育 的ニーズへの 対応の強化	【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上	②地域や小中の連携を図りながら、ボ ランティア活動や募金などを委員 の生徒のみならず、全校生徒に周知 して積極的な活動を目指す。	B 【次年度の方針】 ①担当委員会が提案するだけでなく、横 のつながりを大切にし、委員会の枠を 超えて横断的に活動できるよう工夫 する。 ②地域や小中の連携を図りながら、ボラ ンティア活動や募金などを委員の生 徒のみならず、全校生徒に周知して積 極的な活動を目指す。
4-(1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業 や生徒にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 90%以上	①定期テストや学力調査などの解答 傾向の分析をもとに、教科ごとの課 題を明確にする。 ②教科ごとの課題を改善するために、 「見せ合い授業」などを通して、授 業改善に努めていく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.0% 教職員の肯定的回答 97.6% 保護者の肯定的回答 77.0% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的 回答は数値指標を達成したが、保護者 の肯定的回答は達成できなかった。 【次年度の方針】 ①「分かる授業」を目指し、採点ナビ等 を活用して定期テストや学力調査な どの解答傾向の分析を行い、授業改善 を図る。 ②「自主学習」や「テスト計画表」など を通して、生徒一人ひとりの学習状況 を把握し、適宜アドバイスをを行うこと で、基礎学力の向上を図る。
4-(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力し て業務に取り組んでい る。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①学校経営方針や重点目標を、全教職 員が意識し個々の力を適切に発揮 しながら業務に取り組む。 ②施設安全については、学校業務・機 動班と連携し迅速に対処する。 ③教育相談や生徒指導については、SC や MS や関係機関と連携し早期解 決・早期対応に努める。 ④各主任主事を中心に情報の提供や ミニ会議等を実施し、共通理解を図 り実行していく。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答 は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①学校経営方針と重点目標を職員間で 共有し業務にあたる。 ②施設安全について、学校業務・機動班 と連携し迅速に対応する。 ③教育相談や生徒指導について、SC・MS や関係機関と連携し早期解決・早期対 応に努める。 ④各主任主事を核に、情報提供や会議・ 研修を実施し、共通理解を図る。

4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務に取り組める雰囲気づくりを行う。 ②教材、行事や業務について、資料の共有を職員間で行い、各業務の効率化を図る。 ③行事の有用性や内容を踏まえながら精選を図るとともに、生徒が十分な活動を行えるよう時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 87.8% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務に取り組める雰囲気づくりを行う。 ②教材、行事や業務について、資料の共有を職員間で行い、各業務の効率化を図る。 ③行事の有用性や内容を踏まえながら精選を図るとともに、生徒が十分な活動を行えるよう時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上	①「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図り、その様子を発信する。 ②要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 73.5% 教職員の肯定的回答 90.2% 保護者の肯定的回答 80.2% 地域の肯定的回答 92.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員・保護者・地域の肯定的回答は達成した。 【次年度の方針】 ①「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図り、その様子を掲示・発信し生徒に啓発する。 ②要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上	①魅力ある学校づくり地域協議会とPTAと生徒会が連携することで、活動の充実を図れるようにする。 ②地域のボランティア活動との協力を継続し、郷土への愛着が強まるようにする。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 75.4% 教職員の肯定的回答 95.1% 保護者の肯定的回答 86.2% 地域の肯定的回答 87.5% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①魅力ある学校づくり地域協議会とPTAと生徒会が連携することで、活動の充実を図る。 ②地域のボランティア活動との協力を継続し、郷土への愛着が強まるようにする。

6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上 地域の肯定的回答 90%以上	①学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ②防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 ③活動状況を記録、発信することで、広く周知し防災・減災の意識向上を図る。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 90.2% 保護者の肯定的回答 88.7% 地域の肯定的回答 100.0% ・評価対象である教職員・地域の肯定的回答は数値指標を達成したが、保護者の肯定的回答は達成できなかった。 【次年度の方針】 ①学校安全点検を的確に行い、修繕すべきところは素早く対応する。 ②生徒の実態に即した防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 ③活動状況を記録、発信することを通して、防災・減災の意識向上を図る。
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①ICT機器を利用して個別最適化された授業を展開する。 ②協働的な学びを支援する。 ③職員研修を行うことで、機器の取り扱いや生徒への指導ができるよう教職員の資質向上を図る。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 95.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①ICT機器を利用して個別最適化された授業を展開する。 ②協働的な学びを支援する。 ③職員研修やICT支援員と連携して教職員の資質向上を図り、授業改善につなげる。
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上 地域の肯定的回答 90%以上	①時と場に応じ、誠意のある品の良いあいさつや会話ができるよう指導する。 ②生徒会とも連携し、あいさつ運動やあいさつコンクールなどを実施し、あいさつの大切さを実感させ、意識向上に努める。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.8% 教職員の肯定的回答 95.1% 保護者の肯定的回答 86.2% 地域の肯定的回答 100.0% ・評価対象である生徒・教職員・地域の肯定的回答は数値指標を達成したが、保護者の肯定的回答は達成できなかった。 【次年度の方針】 ①時と場に応じ、誠意のある品の良いあいさつや会話ができるよう指導する。 ②生徒会とも連携し、あいさつ運動やあいさつコンクールなどを実施し、あいさつの大切さを実感させ、意識向上に努める。

	B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 80%以上	①チャイム前着席など、時間に余裕をもって行動することを指導する。 ②「学校の決まり」について見直しが必要な部分については、生徒会と連携を図り積極的に見直す。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.0% 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①チャイム前着席など、時間に余裕をもって行動することを指導する。 ②「学校の決まり」について、見直しが必要な部分については生徒会と連携を図り、積極的に見直す。
	B3 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上	①「自主学習の手引き」を活用することで、生徒各自が学習の見通しをもって学習できる環境を整える。 ②定期テストや長期休業前などに、参考になる自主学習ノートの活用例を生徒、保護者に紹介することで、学習意欲の喚起に努める。 ③定期テストで、全学年共通の計画表、振り返り表を活用することで、テスト前の家庭学習の確立に努める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 76.3% 保護者の肯定的回答 71.5% ・評価対象である生徒・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ①「自主学習の手引き」を活用することで、生徒各自が学習の見通しをもって学習できる環境を整える。 ②定期テストや長期休業前などに、参考になる自主学習ノートの活用例を生徒、保護者に紹介することで、学習意欲の喚起に努める。 ③定期テストで、全学年共通の計画表、振り返り表を活用することで、テスト前の家庭学習の確立に努める。 ④三者面談等を通して生徒の家庭学習の状況などを確認しあうことで、より良い家庭学習の実現に努める。
	B4 教職員は生徒のよさを認め、励ます声掛けを行っている。 【数値目標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①学校行事などを通して、生徒が主体となって取り組む内容を検討し、必要に応じて教員が助言を行うことにより、生徒の主体性の育成と自己肯定感の高まりを図る。 ②学校生活アンケートでの善行についての記入を活用し、生徒への積極的な声かけを実践する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.2% 教職員の肯定的回答 100.0% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①学校行事などを通して、生徒が主体となって取り組む内容を検討し、必要に応じて教員が助言を行うことにより、生徒の主体性の育成と自己肯定感の高まりを図る。 ②「学校生活アンケート」での善行についての記入を活用し、生徒を認め・褒め・励ます声掛けを積極的実践する。

	B 5 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室や図書委員会からの啓発を通じて、より良い読書環境の実現を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ②読書週間を設け、図書委員会の生徒主体となって、朗読放送やお話給食を実施し、読書の啓発を推進する。 ③図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。また、家読デイを設け、家庭での読書を呼びかける。 ④図書室内の環境整備と、図書の整理整頓を行う。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 64.0% 教職員の肯定的回答 95.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが、生徒の肯定的回答は達成できなかった。 【次年度の方針】 ①朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ②読書週間を設け、図書委員会の生徒主体となって、朗読放送やお話給食を実施し、読書の啓発を推進する。 ③図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。また、家読デイを設け、家庭での読書を呼びかける。 ④図書室内の環境整備と、図書の整理整頓を行う。
	B 6 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上	①授業や行事だけでなく、係活動や当番活動等で気が付いたことは積極的にその活動を評価する。行事においては、中心生徒だけでなく、集団の努力も認める。 ②個人目標の設定をさせ、進捗状況や努力している過程にも目を向け、認め、ほめることによって、自己肯定感の更なる向上を目指していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.8% 教職員の肯定的回答 100.0% 保護者の肯定的回答 85.8% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが、生徒・保護者の肯定的回答は達成できなかった。 【次年度の方針】 ①授業や行事だけでなく、係り活動や当番活動等で気が付いたことは積極的にその活動を評価する。行事においては、中心生徒だけでなく、集団の努力も認める。 ②個人目標を設定させ、進捗状況や努力している過程にも目を向け、認め、褒めることによって、自己肯定感の更なる向上を目指す。
	B 7 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上 地域の肯定的回答 85%以上	①保護者との連携のもと、登校指導、下校指導を引き続き行っていく。通学路の危険箇所や交通ルール遵守の徹底を生徒へ呼び掛ける。 ②さくら連絡網や PTA など周知し、協力をお願いする。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.4% 教職員の肯定的回答 92.7% 保護者の肯定的回答 88.1% 地域の肯定的回答 93.3% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①保護者との連携のもと、登校指導、下校指導を引き続き行う。通学路の危険箇所や交通ルール遵守の徹底を生徒へ呼び掛ける。 ②さくら連絡網や保護者会、PTA 等の集会以周知し、協力を依頼する。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学習面】

・A1「主体的に学習に取り組んでいる」では、生徒・教職員共に指標を上回った。また、B3「主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる」では指標を下回っているが、令和5年度比で見ると教職員・保護者の数値が上回っている。今後とも、生徒が意欲的に授業と家庭学習に取り組む工夫を継続する。

・A6「英語を使ってコミュニケーションしている」では、指標を下回るとともに市平均を3.5ポイント下回った。英語科におけるコミュニケーション活動の更なる授業改善と、ALTの授業以外での活用を促進する。

【生活面】

・生徒と保護者の肯定的回答は、多くの項目で大きな増減の変化は見られない。

・A3「目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」では、教職員・保護者ともに令和5年度よりも数値を上げているが、生徒の肯定的回答は経年比2.4ポイント減、市平均比5.0ポイント減となった。今後も生徒の努力を認めて褒めて励ます取り組みを工夫し、家庭の協力を得つつ継続する。

○B1「時と場に応じたあいさつをしている」では、保護者を除いたすべての調査対象で指標を上回った。社会に出た状況での生徒のあいさつは良好であるが、家庭内でも同じようにあいさつができるよう指導する。

【健康安全面】

・B7「定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている」では、すべての評価対象で指標を上回った。今後も生徒に交通安全について指導・啓発するとともに、保護者・地域の力添えを得ながら事故防止に努める。

7 学校関係者評価

・「読書や図書利用(B5)」に関する結果が低いように感じる。タブレット端末による調べ学習が中心になっていることを考慮すると、読書用として利用する生徒が増えるといいと思う。

・「教職員が生徒の学力向上を図っている(A14)」について、保護者は年に数回のオープンスクールだけでは判断できない面がある。学校からの学力向上についての情報発信をさらに行ってほしい。

・「小中一貫、地域学校園、地域との連携(A17,A18)」では、生徒と教職員の結果に開きがある。活動自体は盛んに行われているので、事前指導や事後指導を通して、子どもたちに意識づけをお願いしたい。

・「生徒は目標に向かって粘り強く取り組んでいる(A3)」では、学習活動全般を通して、段階的な目標設定・振り返り・達成感や今後の見通しを持たせる指導をしていただき感謝している。

・「生徒は持続可能社会について関心をもっている(A9)」の数値目標が上がってきている。各教科の指導内容と各領域との関連、また生徒会活動を通して、さらに生徒の意識の高揚を図ってほしい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学習面】

○学力向上に関して、小中教職員が連携して授業改善を推進するとともに、地域学校園共通の「学習の決まり」を活用した指導を実施し、家庭の協力を得ながら、生徒の家庭学習の習慣化と学びに向かう力の涵養を図る。

・宇都宮モデルに準じた授業づくりを進め分かる授業の構築を目指すとともに、個別最適な学びと協働的な学びを実現するためのICT活用について更に研究を進める。

【生活面】

・思いやりの心を育て、いじめの未然防止の取組を継続する。

・人権教育の観点からデジタル・シティズンシップ教育を推進し、端末の効果的な使用や生徒が自立した情報の使い手と成長するための取組を行う。

・生徒一人一人の努力や頑張りを認め、生徒が自信をもって生活できるよう、また目標に向かって粘り強く取り組んでいることが実感できるよう、家庭・地域との連携を踏まえながら指導を工夫する。

【健康安全面】

・登下校だけでなく、日常生活においても交通事故を未然に防ぐための交通安全指導を継続する。